

# 小規模事業者に朗報

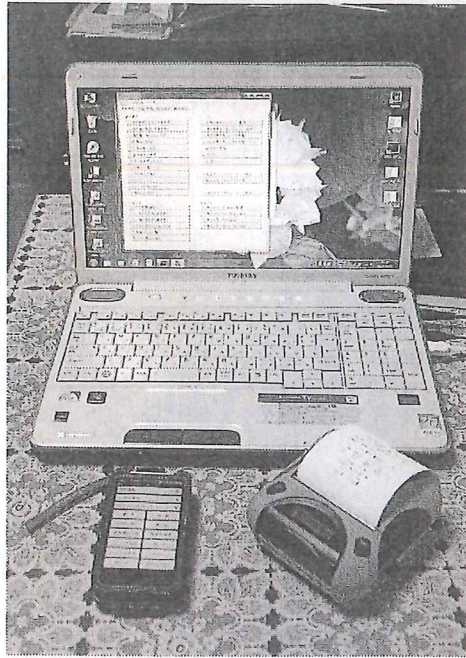
## 住設機器 供給機器

### 低コストの業務ソフト登場 体験版のDLも可能

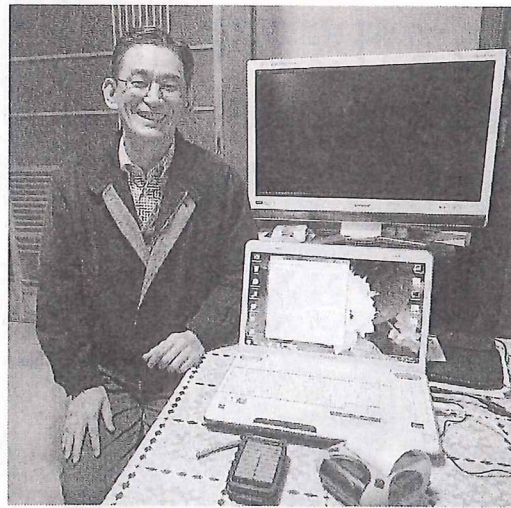
大分県佐伯市の販売店・河村商店（河村益豊社長）が自社開発した、小規模販売店向けの業務管理ソフトが、全国のLPガス事業者間じわり浸透している。導入コストの安さや、販売店目線でつくられた使い勝手の良さが人気の理由だ。

#### 河村商店（大分県佐伯市）が開発

「検針・配送管理」「保安」ソフト。顧客規模数百〜1000軒程度の事業者を対象に開発したという。機能を必要最小限に絞り込むことで操作をシ



業務管理ソフトとスマートフォンを利用したハンディ



自らソフトを開発した河村社長

ンブルにする一方、全国各地の販売店の要望を随時ソフトに反映。

ソフトを開発した河村社長は、「数カ月前も、北海道の配送センターからの要望で、予備側のガス切れを計算できる機能を加えた。各地の声を取り

入れて仕上げたソフトで、いろいろな方に使って

もらえると思う」と自信をのぞかせる。  
価格はいずれも3万円。一般的なウィンドウSPCにインストールして使用でき、20万円ほどでシステム一式を構築できる。

特徴的なのが、スマートフォンやタブレットPC向けに開発された基本ソフト(OS)「Android」に対応する各種端末を、検針用ハンディとして利用できること。デジタル機器向けの無線技術のひとつである「Bluetooth」に対応した携帯型プリンタとアンドロイド端末を無線接続すれば、現地で即、伝票発行が行える。「使い方も簡単で、消費量や料金をボタンひとつで計算できる。お客

さまからは「1日100軒しか回れなかったところが、150軒回れるようになった」など、業務効率率がアップしたとの声もいただいている。当社をはじめ、高価なメーカー製システムに手を出せない零細規模の事業者は多いはず。検針効率アップだけでなく、メータや調整器などの期限管理のレベル向上にも寄与できるのでは」と河村社長。

ソフトの詳細などは河村商店（電話0972-32-2048）、または同社ホームページ（http://www.hyper-tsunumi.jp/~m-kwmr）まで。

なお、ホームページからは、一部機能を省略した体験版のダウンロードも可能となっている。